

「井戸」一斉学習④

井戸へ入る役を丑におしつける場面

・各自で、本時の場面を読む。

T (先生、生徒、丑の心の動きを読むことが今日の 課題だと指示して) 朗読「長い梅雨が、そろそろ晴れ……ガヤガヤやっていた。」
まず、その場面を頭に浮かべてみましょう。

(井戸の絵、「みんな井戸のまわりにたかってガヤガヤやっていた。」の文を板書)

さあ、ここ、みんなのどんな姿が浮かんでくる？……どんな顔でのぞいている？どんな顔で友達と話し合っている？

智士 みんな、「なんやろ」てのぞいてる。

T なんやろて。

T 美豊子

美豊子 みんな、井戸をのぞきこんで、考えながら、不気味な顔で見ている。

T 不気味な顔。

和幸 気持ち悪そうな顔。

智美 こわそうに。

真人 何がはいつてるかわからんで。

智士 みんなシーンとしている。

和幸 ほれやったら、ガヤガヤにならへんやん。

T ほうやね。

勇也 心配

T ああ、みんなおもしろいと思うんやけど、「ぼくはここんとこを読んで心配と思う」そういうふう ゆうて ください。

(菜穂子 自分から手を上げる。)

菜穂子 「この水はあ飲めねえぞ」て書いたるやん。ほんでな、「おらしんねで、けさものんだんだ。きびわりいなあ。」て書いたるで、病気になったらいやなあておもってる。

T ほう、おもしろいね。「きたない水飲んで病気になったらかなんなあ」ていう気持ちで見ている。

はい、大輔

大輔 興味深そうにやってる。うんとな、しゃっぽみてえだな、とか、興味深そうに見てる。

T 哲郎は？

哲郎 心配そうにみてる。へんなものやったら、かなん

勇也 なんか、ここ「おら、しんねで、けさものんだんだ」て書いたるやん。ほんで、この人のんだやん。だれかしらんけど。な、ほんで、だれかが、「何か落っこちてる」ていうたやん。飲んだ人はこれを聞いたら気持ち悪う、なんか心配そうになった。

T おもしろいね。

力 何かうすぐろいかたまりが浮いていたて書いたるやん。ほやさかい、みんな井戸のまわりにたかって、いっぱいがやがややってたと思う。

C こわいけどおもしろい。

保 ちやう。物体が何かわかってたら、気持ちわるうないけど、うすぐろいかたまり、いうたら、何がはいつてるかわからへんやん。ほやさかい、なんかこわい。

T 今、保が大事なこと言ったね。美希なんて言ったの？もういっぺん言って。

美希 なにかうすぐろいかたまりやさかいな、……なんかわかりにくいさかい。

T だから、気持ちが悪い。

得体が知れないから、気持ちが悪いんやね。

はい、大輔

大輔 それとな、まわりが深いしな、井戸が深いしな周りがうすぐらいさかい、よけい気持ちが悪い。

T うん。今いつてることわかる？非常に大事なこと。

これ（なにかうすぐろいかたまり）が気持ち悪いのは、もちろんだけど、プラス何かがあるって。

Cs ……

T 聞いてないんやなあ、おまえらは。大輔もういつぺん言って。

大輔 このうすぐろいかたまりがな、井戸が深いしな、それに、よけい、井戸がうすぐろいさかい気持ちわるうなるの。よけい。

真人 明るかったらな、そんなこわいことないけどなういてるしな、しずんでるんじゃないやなくてういてるんやしな、みんなが見てガヤガヤやっている。

勇也 なんか、ういてるで感じが出るんちがう。

T ほう、おもしろいね。

今、大輔が言ったのは、最初のところ見てくださいね。井戸の様子が書いていましたね。（朗読）
「大きな遠眼鏡でものぞくように……つめたく光って見えていた。」

そういう、気持ちの悪いぼうーとした中に保がいうたように、なにかうすぐろいかたまりがうきあがっている。

C ヨツチに読みましたらものすごく気持ちわるいぞ。

T だから、みんな、さっき言ったように、心配そうに、不気味に見ていた。あるいは、それを面白がって見ていた。

じゃ、聞くけど、「ガヤガヤやっている」話の中に「なんとかとらなあかな」とか、そういう話はあったでしょうか。

Cs ない！

裕幸 そこではな、とらなあかなとかいうたら、もし自分あたったたらかなんで、中のもの話ばかりしている。

真人 もし「おまえとれよ」とかいうたら、「ほういう自分がとれよ」とか言われる。

T 智子はどうしてそう思う？

智子……

T 「がやがや」というのは、どういう感じ？一生懸命話し合ってる時、ガヤガヤという？

善崇 ひとりひとりかってに言うてる。

T 相談している時にはガヤガヤにならないですね。かってかってにいつてる時、ガヤガヤになる。力あのない、「おまえはいれや」というたら、「おまえこわいのけ。おまえはいれや。」ていわれる。

勇也 ガヤガヤやでな、みんな、遊ぶようにゆうててな、

T 勇也は非常に大事なこといつてる。ガヤガヤは遊んでいる感じなんやて。

智士 いや、遊んでへん。「きびわりいなあ」てこわがっている。

T だから、そうやって、ワアワアいつてるんだけどそこには、なんとかしようというものはないのね。勇也 ガヤガヤゆうてると、ほれにつられていうてる

T はい、じゃ、次読むぞ。そういう状況からどう変わっていくかですね。

「そこへ、先生が出てきた……「だれか入ってみるもんはないか」といった。」

（先生の言葉を板書）

真人 自分がこわいで。

大輔 先生、うまいぞなあ。

口々にいつてる

和幸 先生もこわいで

T 先生のここの心を想像してみ。なぜ、こんなことをいったんだろう。

Cs 多数挙手

美希 うんとなあ、井戸ってせまいやん。ほやさかい先生、体が大きいさかい、中へはいれへん。

Cs そうじゃない

T 美希は先生は入りたい、だけど入れないから「だれか」といったという意見ね。
留美は？

暢子 先生も自分もいきとうないで。

保 自分も下の方がうすぐろうて何も見えへんやん。自分もこわいさかいな、なんか、生徒の方へなすりつけよ

うとしてるの。

力 井戸が深いで！

T ちよつと、わあわあいわんで。

貞幸 もし、猫やら入ってたら自分もきしよく悪いしな、ほんでな、とるのがかなん。

智美 なんか、自分もうすぐろいかたまりがういてるさかいな、自分も入るのがかなんで、生徒になすりつけている

T そういうふうにみんな思う？

大輔 昔からだれも入ってん井戸みたいやしな、きしよくわるいものやさかいな、先生はいりとうないさかいな、生徒やったら、興味ぶかそうにみとるさかいな、入ってくれてたのんで

弘子 私は、先生が入るとな、つながぎれてしまったりしてあぶないさかいな、もしも先生が入ったらつな、だれもしっかりつかまえてくれへんで。

Cs (大笑い)

T なるほどね。だから先生もこわいわけだ。

力 もし上野先生が入ったら、わいら絶対そうするわ

Cs (わいわい言っている)

勇也 自分もな、これずっとほついたら飲めへんしな、入るのもこわいしな、ロープがきれたらかなんで。

善崇 ぼくはな、自分はな重くて生徒はもちあげられへんとかな、そういう恐怖心とかあったと思う。

T 確かめたいんだけど。

「だれか」の中に自分は入れてるの？

Cs いれてん！

T 自分をのけた子供等だけや、というのは、どこでわかるの？

もし、だれも入るといふものがなかったら、自分が入る、という気持ちはなかった、というんでしょ。

それは、どこを読んだらわかるの？

ちよつと1分間時間をあげるから考えて

Cs 「ここかな」などと言っている。

T はい、どこでわかる？寛子

寛子「そろそろおろしてやっかんな」て、なんか、また相談するように、なんとかはいつてほしいから、相談するようになっている。

美豊子 「そろそろ……」のところだな、先生、一生懸命いわけしてる。

亜紀子 「そう相談するように」てな、相談させてだれかにな、生徒のだれかに入らせようとしている。

T そうね。まだ、ほかに見つけた人ある？その近くにあるよ。先生絶対いれさせようというのが。

美希 「先生はふりむいて」て書いたるさかい、

力 「みんなは顔を見合わせてだまっていた」のところだな、先生はだれもはいるもんいいひんなあとと思ってたと思う。

T ほんで？

力 ほんで、「つるべき、しつかり……」て言うたと思う。

裕幸 「みんなは顔を見合わせて」のところだな、もうあかんと思てたやろ。

T 先生にはわかるのね。みんなの気持ちだ。

裕幸 うん、ほんでな、「つるべき……」て言うてな、ほこで、念をおしてな、なんとかはいらそうとおもって言うてるの。

哲郎 なんか、安心していけるでだいじょうぶやて。

T そうそう、そうしてそそのかしてるわけね。

で、そういって、先生はどうしていますか？

「そう相談するようにいって、みんなを」

Cs 見た。見回した。

T 「見た」とは書いていませんね。「見回した」

「見回した」とはどういうこと？

佐夜子 だれかはいってみるもんはいひんかな、て見回している。

T そうそう。ただみたんじゃない。ここには先生の思いがある。佐夜子、もういっぺん言って。

佐夜子 たれか、だれか入るもんはいひんかと思って見回したと思う。

T ぼうつと見ていないんでしょ。相談するようにうまいこといいながら、あいつどうかな、こいつどうかなて見てるわけですね。

さあ、そういう状況のなかでみんなはどうしていくか。今度はみんなの方を見てください。

朗読

「みんな、顔を見合わせてだまっていた。」

なんで？

C s こわいで！

T なぜ、だまってるの？

幸則 自分が入るのいややで。

T なら、「いやだ」て言えばいい。

C s 口々にいい出す

T ちよつと、静かに考えて。なぜ、だまっていたのか。

美豊子 みんなは、はやく「ぼくがいく」とかいつてくれないかなと思って、うつむいて、一言でもしやべつたら、先生が、一方的に「なら、おまえ行け」といわれるとかなんで。

T だれかがいつてくれんかなあ、て待っている

声を出したら自分にあたりそうな気がする。

佐夜子 はじめに「だれでもちよつとのぞいてみた」て書いたるやん。だれもこわいさかい、入る気に ならへんさかい、だれか、入る人いいひんかなあてまってる

菜穂子 みんな顔を見合わせてだまって、あいつが入ればいいのにとおもってる。

T みんな入るのがいややで、あいつが入ればいいのに、と思ってる。

T 心の中で、お互いに「おまえいけや」て思ってる
勇也 先生がはいりて言うたら、また文句言うたら、みんなが「先生が言うたんやではいれや」ていわれるやん。先生に文句いうたらおこられるやん。ほんで、友達も「先生があてたんやではいり」ていうやん。ほんで、シーンとしてるん。

T なるほどね。はい、貞幸

貞幸 みんな井戸のぞいてるんやろ。ほんでな、うすぐろいもんやろ。ほんでいやな顔してな、

T とつてもそんなところへはいれないや、てね。

貞幸 うん

善崇 先生と同じようにな、だれにしようかなてなすりつけてるみたいにな、だれがいいかな、て思ってると思う。

T うん。腹の中で「あいつか、だれかはいってくれたらいいのに」て思ってる。

裕幸 あのな、ここで、「いや」て言うたらな、先生「みんなのためにするのがなんでいやなんや」

とか言うてな、おしつけられそうやで。

T 保がおもしろいこといつてた。授業参観でむつかしい問題をあてられた時みたいや、て。自分があたらかなんなあ、て、下向いてじつとがまんしてる、それとおんなじやって。

C 目があつたら、すぐあたる。

T 先生と目が合ったら

保 その時が最後や。（笑い）

C s わいわいいつてる

T 逆に言えば、先生と目を合わさずに、だれと目を合わしているの。

C s みんな。

T かなんものどうしね。

じゃ、その時、丑もだれかと目をあわせたでしょうか。

C s ひとり。

和幸 一人で下むいてた。

哲郎　なんか、丑は逆にみんなからみられてると思う

丑は力が強いし、いつも井戸のことやってるで、

大輔　丑は、一人で下向いてたと思う。丑は、だれかと目線をあわしたら、「丑がおるわ」ていわれるで

真人　丑はな、先生と見ても友達と見ても一緒なん。

T　うん、そうね。みんなと顔を見合わせる仲間に丑ははいつてるかというと

Cs　はいつてない。

T　はいつてないわけですね。

みんなの仲間には入れないそんざいですね。

裕幸　丑は、自分がいつあてられるか、てひやひやしてる感じ。

T　そうね。丑は丑だけでね。

さあ、そこで、問題だ。

「先生は、また、そう相談するようにいつて、みんなを見回した。」すると、今まで黙っていたのに

「先生、丑がいいや！」とさげんだ。

(板書)

「言った」じゃなくて、「さげんだ」。この子供の気持ちを考えて下さい。

智美　なんか、自分がいりとうないさかい、前にかいたったけど、丑が不器用やさかいに。

T　はい、それをタネにして。

哲郎　なんか、このままいくとな、先生と目線が合つて、自分が入らされるみたいなん。

……お、ええこというてるやん。

勇也　カンミが手上げてるやん。

カンミもあてたり。

和美　自分等も当つたらかなんしな、大きい声でさげんだらな、みんなつられてな、「そうだ丑がいい

や」ていうてな、先生も丑に入ってもらおうと思わるで。

T　丑がいいや、て叫べば、みんなそっちへいくだろう、てね。はい、智子

智子　このまま長いことだまりこんでたらな、先生が勝手にだれか行け、てあてられると思つて、ほんで、みんな丑をいじめてたさかいに、だれか一人が言うたら、集中攻撃みたいに、

T　哲郎や智子が言ってることわかる？「だれか……」ていつてる時はだまつてたんだ。だけど、「そう相談するように……」の時は、このまじつたら

だれか当る。そうなったときにさげんだんですね。

保　このままだまつてたら、絶対だれかにあたるやんほれが自分に当るかもわからんやん。ほやさかい、

もう、自分と違う人の名前考えてたと思う。

T　その時に「丑がいいや」て。なぜ、丑の名前が出てきたのか。

明子　いつもなんか文句いうても、丑は何もいわんかったでな、丑といったら、丑は行くかもしれんと思つて。

力　他の友達の名前言うたらな、仲間に入れてもらえへんようになるで。

T　丑なら？

力　丑ならもう仲間外れやでどうもない。

和幸　丑やつたらな、ほとんどの子が賛成する。

美希　あとになるけど、「丑はこないだ家の井戸ざらいつときも中さはいつたんだもん」

て書いたるやん。ほやさかい、丑は中に入ったことがあるしな。

T　丑は井戸の中にはいつたことがあるからいいと思つた。

勇也　先生が丑の不器用をなおしてあげるように

寛子　だれかの名前言うたらな、いじめられるかもしれへんしな、丑は、みんなからいじめられてるちゅうか、仲間外れにされてな、ほやし、家の井戸ざらいつときもはいつたんだもん、ていえばな、先生も賛成するしな、みんなももっと賛成する。

Cs　聞こえへん。

T　こういうことや。一つは、みんなからのけもんになっている丑をいつてもだれもおこらない。もし、自分たちの仲間のだれかをいえば、なんじゃあ！て

けんかになるね。

丑ならけんかにならない。

じゃ時間がないから、もう一つきくけど、今、美希がね丑は家の井戸ざらいしたことがあるからいい、ていつ

ただ、そうなんですか。

C s それはない。

勝手にでたん。

幸則　なんか、いいがかりつけて、はやいとこ丑を入れさせようと思って。

佐夜子　たまたま丑の名前が出てきたと思う。

T　ああ、このこといつてるのね。だけれが、丑といったら、「ああ丑がいた」という感じ。だから、「家の井戸ざらい……」なんていいがかりつけければ先生も賛成する

力　なるほど。先生もはいりとうないで、賛成する。

和幸　なんか、今度は生徒が先生を説得してるみたい

T　そうやね。じゃ、チャイムがなったから、「なぜ丑はだまっていたか、」という問題は、明日にやりましょう。